

がめじいの こうふのツボ



今月は江戸時代に甲府藩主が定めた「甲斐八景」についてじゃ。
甲府盆地ならではの、美しい情景を紹介しますぞ。

柳沢吉里が定めた甲斐八景

皆さんは、「甲斐八景」をご存じですか？およそ300年前、甲府藩主だった柳沢吉里が「近江八景」（現在の滋賀県）にならい、山梨県内で選んだ8か所の名勝地のことです。

甲 斐 八 景

- ☆ 夢山春曙…夢見山の春の夜明け
- ☆ 竜華秋月…護国神社周辺にあった龍華山永慶寺から見た秋の月
- ☆ 金峯暮雪…金峰山の夕方の雪の眺め
- ☆ 酒折夜雨…酒折宮の夜の雨
- 石和流笛…笛吹川（笛吹市）の笛
- 富士晴嵐…晴れた日の富士山
- 恵林晚鐘…恵林寺（甲州市）の暮れの鐘
- 白根夕照…夕日に輝く白根三山（北岳、間ノ岳、農鳥岳）

☆印は甲府市内じゃ。300年たった今でもきれいな景色が目に見えようじゃ。



吉里は、京都の8人の公卿に頼んで、八景の情景ごとに和歌をつくってもらい、中御門天皇の許可を得て「甲斐八景」を定めました。大泉寺（古府中町）には「夢山春曙」の歌碑が建てられています。



▶大泉寺の歌碑。
「きのふまで めなれし雪は 夢山の
夢とぞかすむ 春のあけほの」

甲斐八景の中でも「竜華秋月」の情景は、まさに今の季節です。「なにしおはば 嶺なる秋の 月やしる その暁の 花の光も」と詠まれ、名月が観賞できる場所として名を高めました。舞台となった龍華山永慶寺は、吉里の父、吉保が柳沢氏の菩提寺として創建しました。しかし、1724（享保9）年に吉里が大和郡山（現在の奈良県）へ国替えするときに寺は取り壊され、現在は、護国神社境内に寺の遺物が一部残るのみです。

残念ながら、今はもう、「甲斐八景」が定められた当時と同じ風景を実際に見ることはできません。しかし、四季折々の情景を美しいと思う心は大切にしていきたいですね。

武田二十四将列伝

◆其の壺◆ 武田二十四将とは…？

来年の大河ドラマは、井上靖の原作『風林火山』です。山本勘助が主役であり、武田信玄や「武田二十四将」をはじめとする甲州軍団の活躍が見ものです。

さて、武田24将とはどのような武将たちだったのでしょうか。

武田信玄の配下には、勇将・知将といわれる個性的で有能な武将がたくさんいました。信玄の俊英たる24人の武将を選びすぐって、「武田二十四将」といわれています。江戸時代の中ごろには固定化されたようですが、最初のころは22、23人という数字もありました。

武田氏が滅んだ後、徳川家康が武田氏の軍制を取り入れ、「甲州流軍学」が世間に広まることにより、武田信玄とその家臣も有名になりました。

24人の顔ぶれが描かれた「武田二十四将図」にも数種のもが存在し、書物によっても必ずしも一致していません。これは、信玄がいかに多くの優秀な家臣を持っていたということの、現われなのでしょうね。

（武田氏研究会 信藤祐仁）

次号からは、諸説ある「武田二十四将」のうち、「信玄公祭り」で取り上げられている人物を順次紹介していきます。お楽しみに！



「武田二十四将図」（武田神社蔵）